

新エネルギー等概況調査 調査結果

市町村

回収数：120件

※n値は、基本的に各設問における回答者数を示しています

※無回答、無効回答（単数設問で複数選択）は集計対象から除外しています

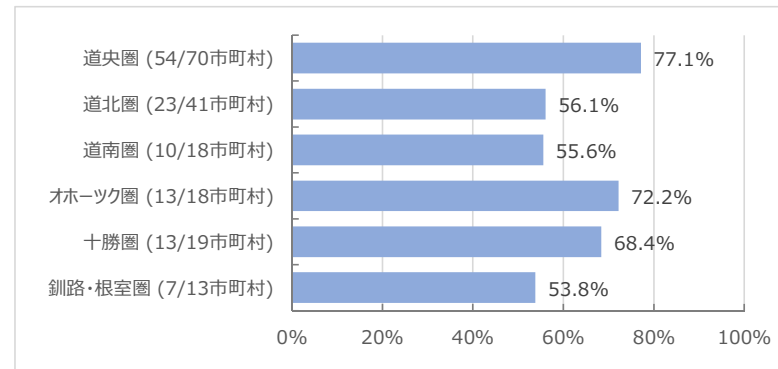
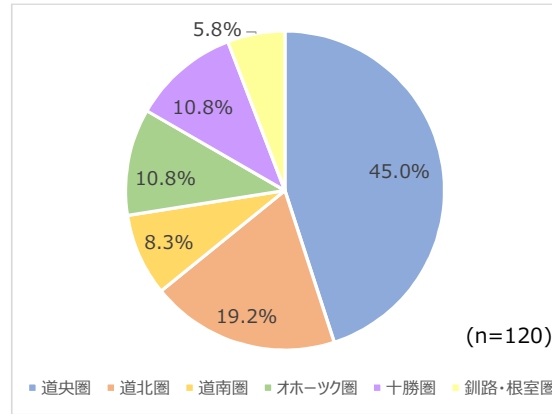
※SA：単数回答 MA：複数回答

※クロス集計を行っている部分は、表タイトルを濃い灰色地に白文字とし、グラフを白塗りの枠線付きとしています

※ 6圏域別回収割合

選択肢	回収済	回収済	
道央圏	54	45.0%	77.1%
道北圏	23	19.2%	56.1%
道南圏	10	8.3%	55.6%
オホーツク圏	13	10.8%	72.2%
十勝圏	13	10.8%	68.4%
釧路・根室圏	7	5.8%	53.8%
合計	120	100.0%	

(n=120)

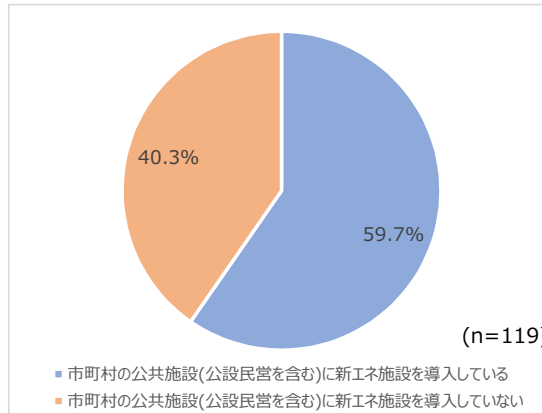


I 市町村における新エネの状況

1 市町村営の新エネの導入状況について (SA)

選択肢	回答数	構成比
市町村の公共施設(公設民営を含む)に新エネ施設を導入している	71	59.7%
市町村の公共施設(公設民営を含む)に新エネ施設を導入していない	48	40.3%
合計	119	100.0%

(n=119)



※6圏域別導入数

圏域	導入済	未導入	未回答	合計
道央圏	29	24	17	70
道北圏	16	7	18	41
道南圏	4	6	8	18
オホーツク圏	9	4	5	18
十勝圏	11	2	6	19
釧路・根室圏	2	5	6	13
合計	71	48	60	

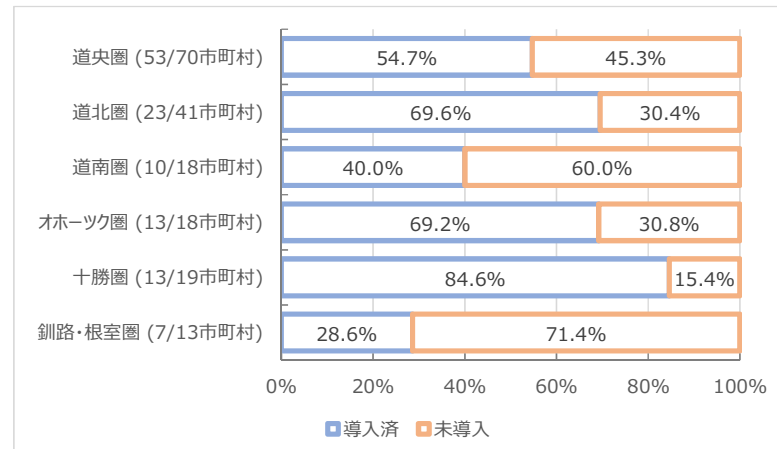
(n=71)

構成比

圏域	導入済	未導入	未回答	導入済	未導入
道央圏	41.4%	34.3%	24.3%	54.7%	45.3%
道北圏	39.0%	17.1%	43.9%	69.6%	30.4%
道南圏	22.2%	33.3%	44.4%	40.0%	60.0%
オホーツク圏	50.0%	22.2%	27.8%	69.2%	30.8%
十勝圏	57.9%	10.5%	31.6%	84.6%	15.4%
釧路・根室圏	15.4%	38.5%	46.2%	28.6%	71.4%

回収率

76%
56%
56%
72%
68%
54%



2 貴市町村直営（公設民営を含む）の新エネ施設うち稼働中のものについて

※後半の別紙にて集計

3 貴市町村直営（公設民営を含む）の新エネ施設のうち整備中・計画中のものについて

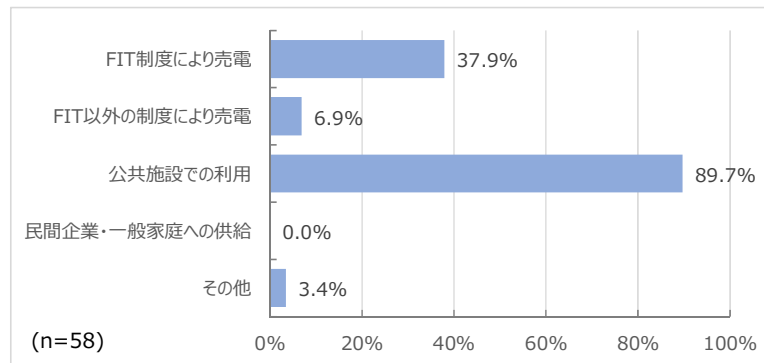
※後半の別紙にて集計

4 新エネにより発電した電気の利用方法

新エネにより発電した電気の利用方法について（MA）

選択肢	回答数	構成比
FIT制度により売電	22	37.9%
FIT以外の制度により売電	4	6.9%
公共施設での利用	52	89.7%
民間企業・一般家庭への供給	0	0.0%
その他	2	3.4%
回答者数	58	

(n=58)

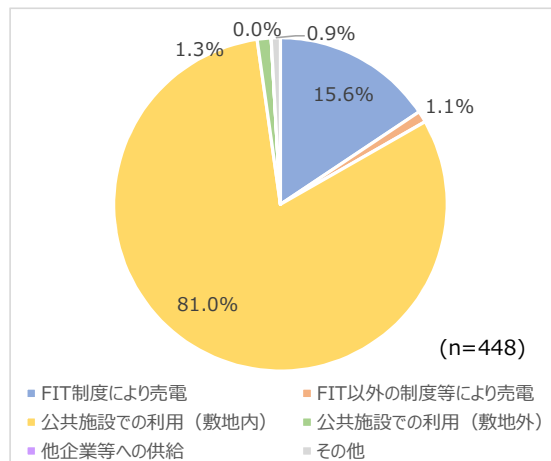


具体的な施設数（新エネにより発電した電気の利用方法について）

※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
FIT制度により売電	70	15.6%
FIT以外の制度等により売電	5	1.1%
公共施設での利用（敷地内）	363	81.0%
公共施設での利用（敷地外）	6	1.3%
他企業等への供給	0	0.0%
その他	4	0.9%
合計	448	100.0%

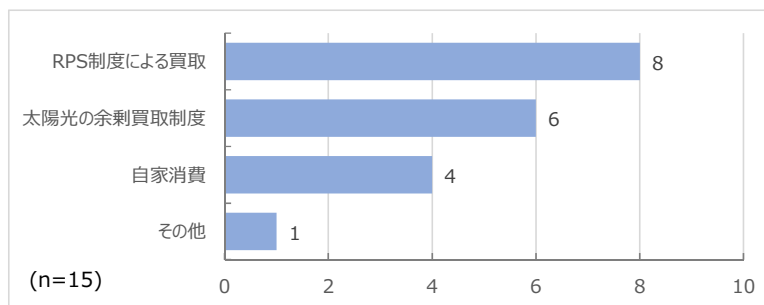
(n=448)



「FIT制度により売電」を選んだ方で、FIT以外の制度からFIT制度への切替を行っていた場合は、それ以前に活用していた制度についてお答えください（MA）

選択肢	回答数	構成比
RPS制度による買取	8	53.3%
太陽光の余剰買取制度	6	40.0%
自家消費	4	26.7%
その他	1	6.7%
回答者数	15	

(n=15)

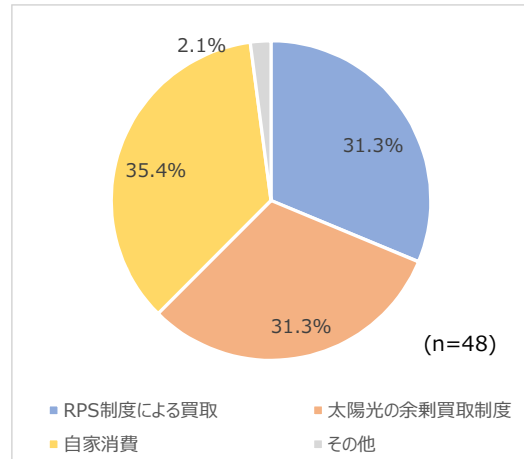


具体的な施設数（FIT以外の制度からFIT制度への切替を行っていた場合は、それ以前に活用していた制度）

※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
RPS制度による買取	15	31.3%
太陽光の余剰買取制度	15	31.3%
自家消費	17	35.4%
その他	1	2.1%
合計	48	100.0%

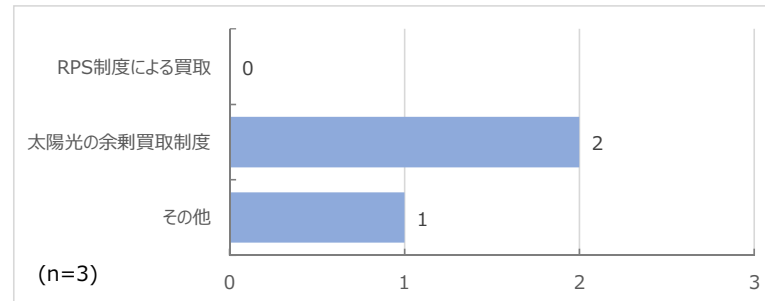
(n=48)



「FIT以外の制度等により売電」を選んだ方は、利用している売電制度についてもお答えください (MA)

選択肢	回答数	構成比
RPS制度による買取	0	0.0%
太陽光の余剰買取制度	2	66.7%
その他	1	33.3%
回答者数	3	100.0%

(n=3)

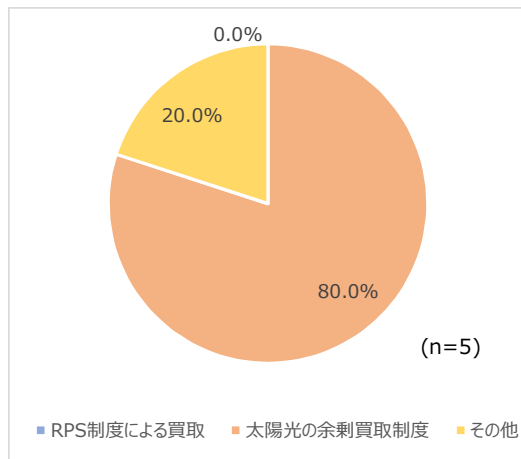


具体的な施設数（FIT以外で利用している売電制度）

※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
RPS制度による買取	0	0.0%
太陽光の余剰買取制度	4	80.0%
その他	1	20.0%
合計	5	100.0%

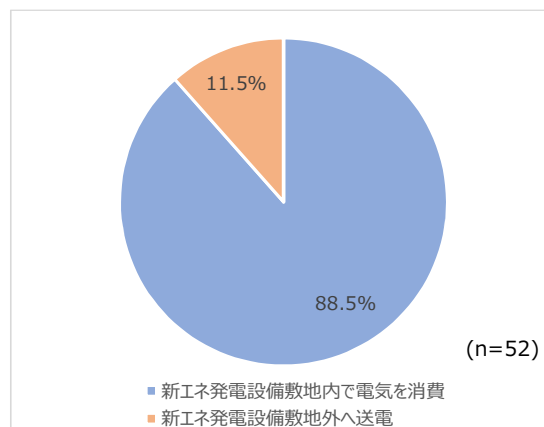
(n=5)



「公共施設での利用」を選んだ方は、電気の消費先についてもお答えください（SA）

選択肢	回答数	構成比
新工ネ発電設備敷地内で電気を消費	46	88.5%
新工ネ発電設備敷地外へ送電	6	11.5%
合計	52	100.0%

(n=52)

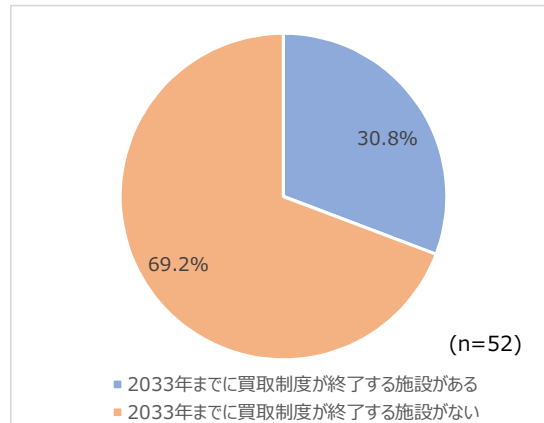


5 買取制度終了後の対応

買取制度終了後の対応 (SA)

選択肢	回答数	構成比
2033年までに買取制度が終了する施設がある	16	30.8%
2033年までに買取制度が終了する施設がない	36	69.2%
合計	52	100.0%

(n=52)

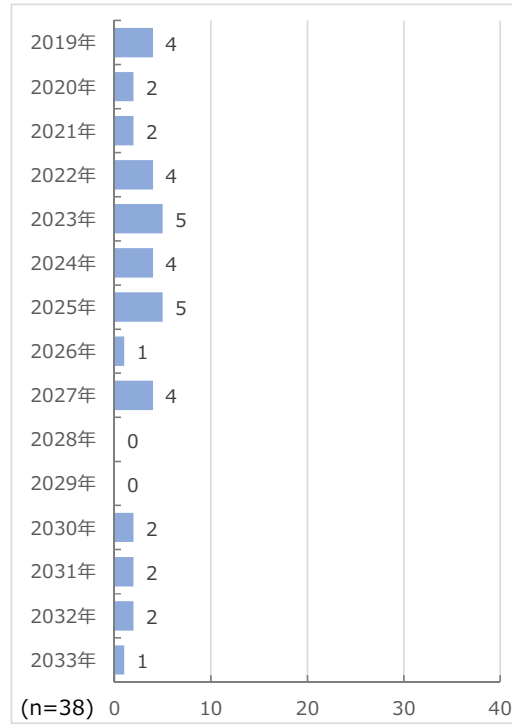


具体的な買取終了年数

※nは回答者数ではなく件数を示しています

選択肢	回答数	構成比
2019年	4	10.5%
2020年	2	5.3%
2021年	2	5.3%
2022年	4	10.5%
2023年	5	13.2%
2024年	4	10.5%
2025年	5	13.2%
2026年	1	2.6%
2027年	4	10.5%
2028年	0	0.0%
2029年	0	0.0%
2030年	2	5.3%
2031年	2	5.3%
2032年	2	5.3%
2033年	1	2.6%
合計	38	100.0%

(n=38)



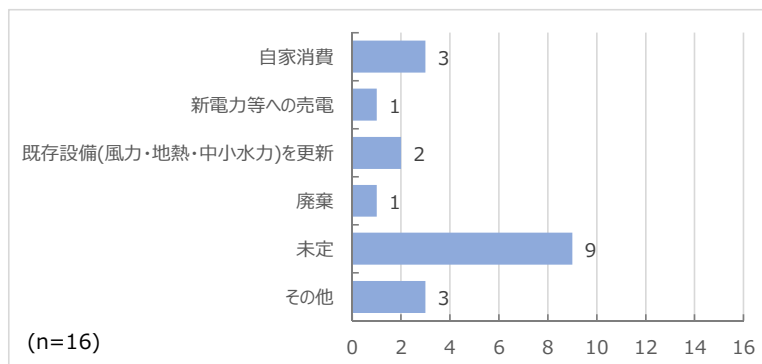
6 買取制度終了後の対応 (MA)

選択肢	回答数	構成比
自家消費	3	18.8%
新電力等への売電	1	6.3%
既存設備(風力・地熱・中小水力)を更新	2	12.5%
廃棄	1	6.3%
未定	9	56.3%
その他	3	18.8%
回答者数	16	100.0%

(n=16)

特徴的な内容

- ・発電に利用していたバイオガスを他の用途に利用



7 新エネ用の蓄電池等整備状況 (MA)

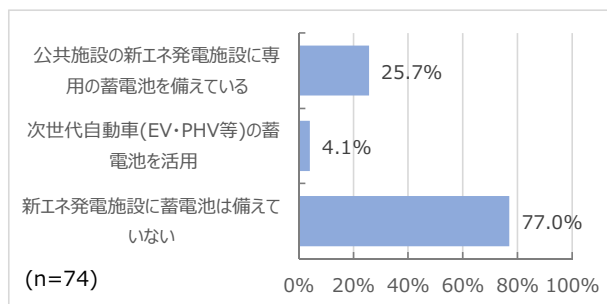
新エネ用の蓄電池等整備状況について

選択肢	回答数	構成比
公共施設の新エネ発電施設に専用の蓄電池を備えている	19	25.7%
次世代自動車(EV・PHV等)の蓄電池を活用	3	4.1%
新エネ発電施設に蓄電池は備えていない	57	77.0%
回答者数	74	

(n=74)

特徴的な内容

- ・FCVの非常時利用2件
- ・EVのイベント利用1件



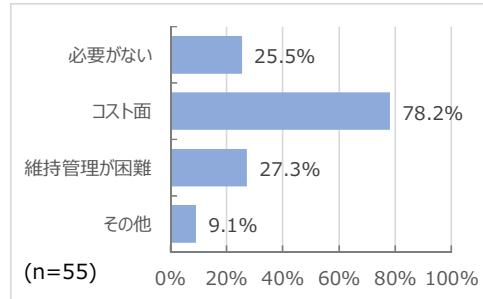
「新エネ発電施設に蓄電池は備えていない」を選んだ方は、備えていない理由についてもお答えください (MA)

選択肢	回答数	構成比
必要がない	14	25.5%
コスト面	43	78.2%
維持管理が困難	15	27.3%
その他	5	9.1%
回答者数	55	

(n=55)

特徴的な内容

- ・新エネルギーの普及・啓発目的での設置のため



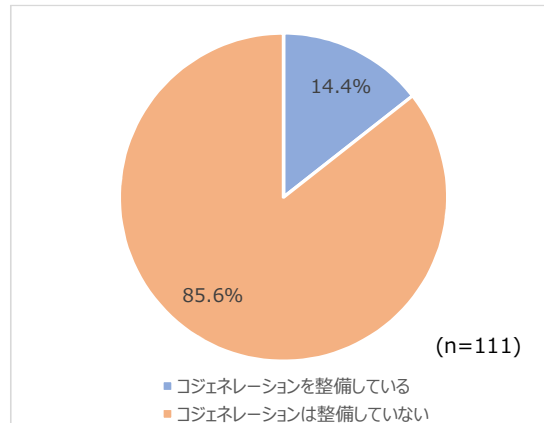
8 コージェネレーション整備状況

コージェネレーション整備状況 (SA)

選択肢	回答数	構成比
コージェネレーションを整備している	16	14.4%
コージェネレーションは整備していない	95	85.6%
合計	111	100.0%

※設備名は別シート

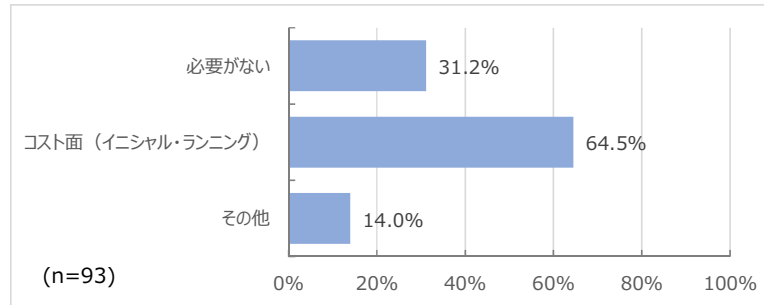
(n=111)



「コジェネレーションは整備していない」を選んだ方は、整備していない理由もお答えください (MA)

選択肢	回答数	構成比
必要がない	29	31.2%
コスト面 (イニシャル・ランニング)	60	64.5%
その他	13	14.0%
回答者数	93	

(n=93)

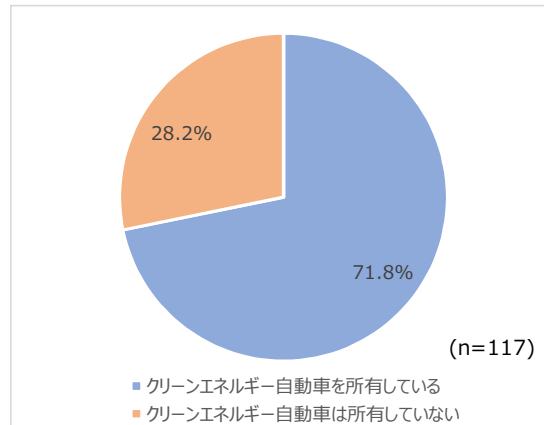


9 クリーンエネルギー自動車の所有状況

クリーンエネルギー自動車の所有状況について (SA)

選択肢	回答数	構成比
クリーンエネルギー自動車を所有している	84	71.8%
クリーンエネルギー自動車は所有していない	33	28.2%
合計	117	100.0%

(n=117)



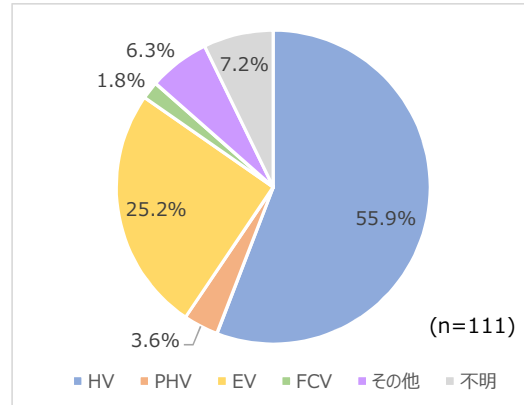
クリーンエネルギー自動車の車種

※nは回答者数ではなく車種数を示しています

※記述頂いた車種を分類しているため、HVとPHVが混同されている可能性があります

選択肢	回答数	構成比
HV	62	55.9%
PHV	4	3.6%
EV	28	25.2%
FCV	2	1.8%
その他	7	6.3%
不明	8	7.2%
合計	111	100.0%

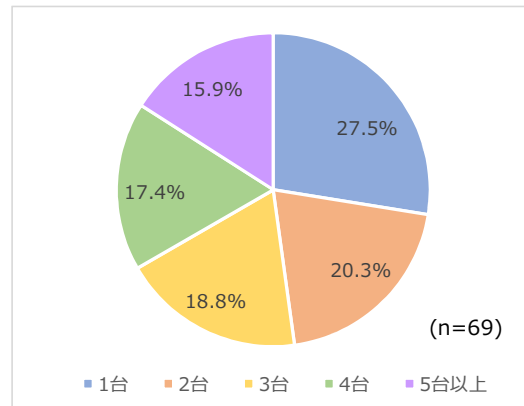
(n=111)



クリーンエネルギー自動車の総所持台数

選択肢	回答数	構成比
1台	19	27.5%
2台	14	20.3%
3台	13	18.8%
4台	12	17.4%
5台以上	11	15.9%
合計	69	100.0%

(n=69)



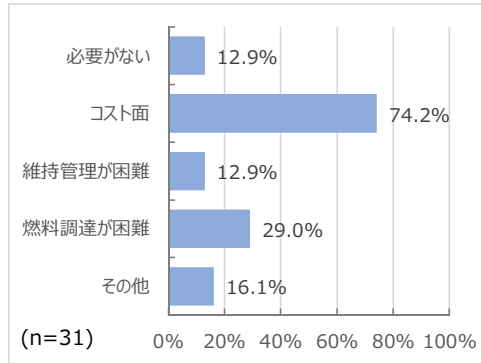
「クリーンエネルギー自動車の所有はない」を選んだ方は、理由についてもお答えください (MA)

選択肢	回答数	構成比
必要がない	4	12.9%
コスト面	23	74.2%
維持管理が困難	4	12.9%
燃料調達が困難	9	29.0%
その他	5	16.1%
回答者数	31	

(n=31)

特徴的な内容

- ・寒冷地での使用に難がある



10 新エネルギー燃料製造

※市町村営以外に地域内で実施されている事例があれば、分かる範囲でお答えください

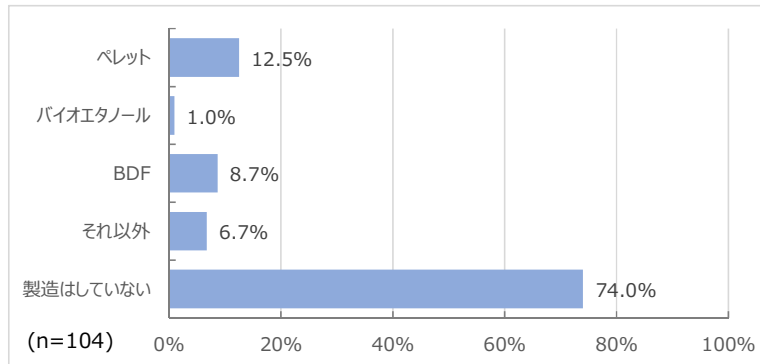
バイオマス燃料製造について (MA)

選択肢	回答数	構成比
ペレット	13	12.5%
バイオエタノール	1	1.0%
BDF	9	8.7%
それ以外	7	6.7%
製造はしていない	77	74.0%
回答者数	104	

(n=104)

特徴的な内容

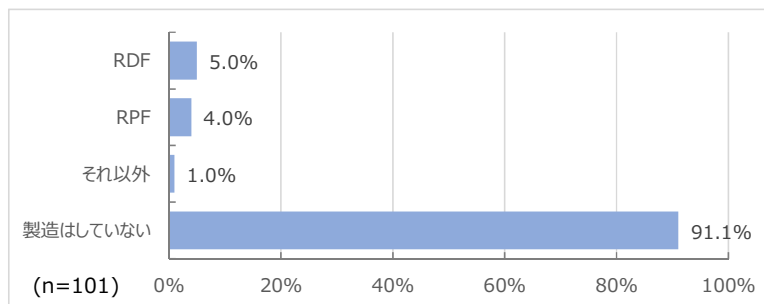
- ・水素



廃棄物燃料製造について (MA)

選択肢	回答数	構成比
RDF	5	5.0%
RPF	4	4.0%
それ以外	1	1.0%
製造はしていない	92	91.1%
回答者数	101	

(n=101)

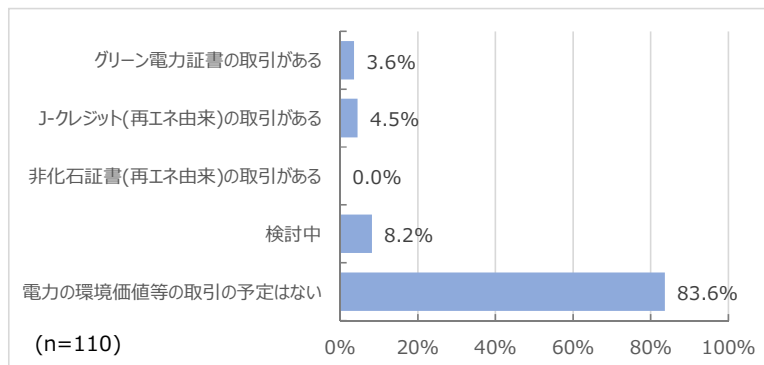


1.1 電力の環境価値等の取引について

電力の環境価値等の取引 (MA)

選択肢	回答数	構成比
グリーン電力証書の取引がある	4	3.6%
J-クレジット(再エネ由来)の取引がある	5	4.5%
非化石証書(再エネ由来)の取引がある	0	0.0%
検討中	9	8.2%
電力の環境価値等の取引の予定はない	92	83.6%
回答者数	110	

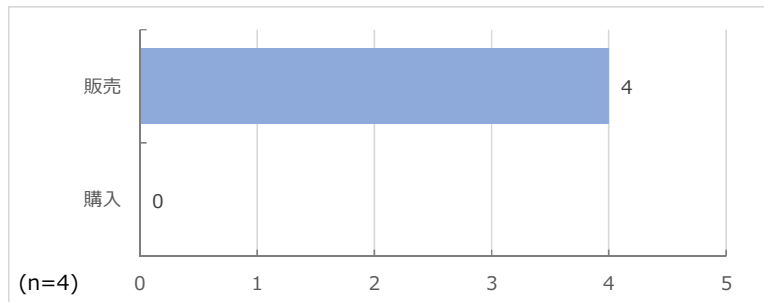
(n=110)



グリーン電力証書の取引詳細 (MA)

選択肢	回答数	構成比
販売	4	100.0%
購入	0	0.0%
回答者数	4	

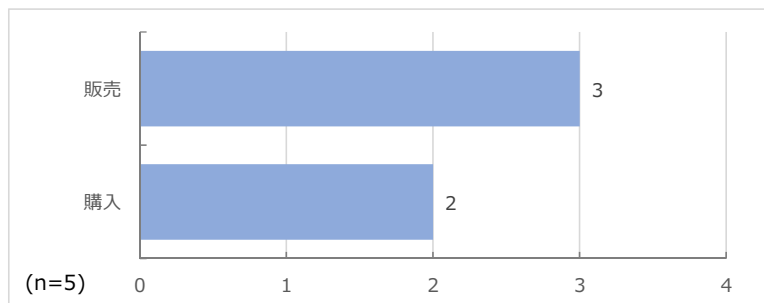
(n=4)



J-クレジット(再エネ由来)の取引詳細 (MA)

選択肢	回答数	構成比
販売	3	60.0%
購入	2	40.0%
回答者数	5	

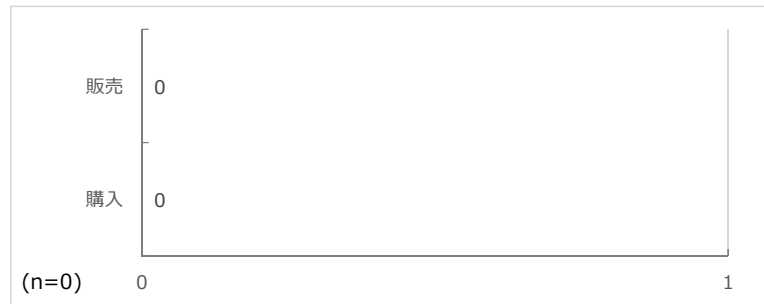
(n=5)



非化石証書(再エネ由来)の取引詳細 (MA)

選択肢	回答数	構成比
販売	0	#DIV/0!
購入	0	#DIV/0!
回答者数	0	

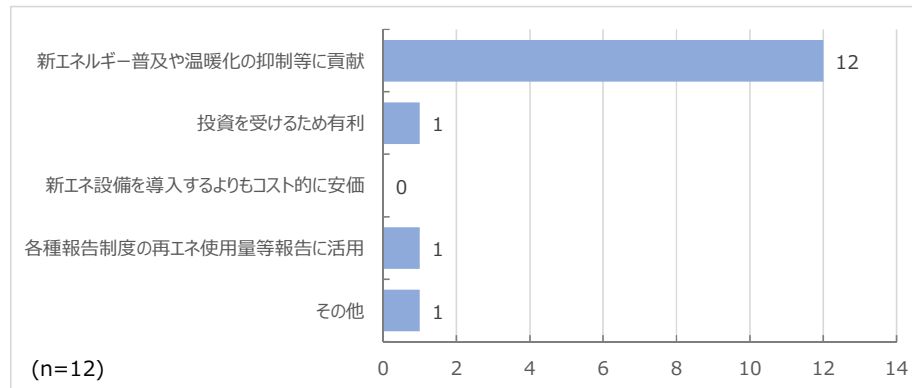
(n=0)



1.2 電力の環境価値等取引を行う理由 (MA)

選択肢	回答数	構成比
新エネルギー普及や温暖化の抑制等に貢献	12	100.0%
投資を受けるため有利	1	8.3%
新エネ設備を導入するよりもコスト的に安価	0	0.0%
各種報告制度の再エネ使用量等報告に活用	1	8.3%
その他	1	8.3%
回答者数	12	

(n=12)



(n=12)

II 新エネ導入の課題

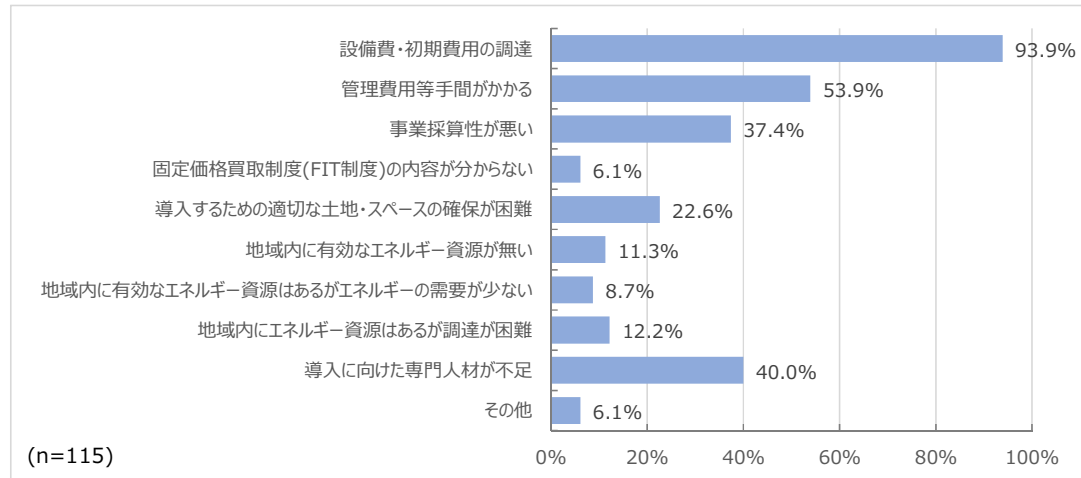
1 新エネ導入・促進の課題について (MA)

選択肢	回答数	構成比
設備費・初期費用の調達	108	93.9%
管理費用等手間がかかる	62	53.9%
事業採算性が悪い	43	37.4%
固定価格買取制度(FIT制度)の内容が分からない	7	6.1%
導入するための適切な土地・スペースの確保が困難	26	22.6%
地域内に有効なエネルギー資源が無い	13	11.3%
地域内に有効なエネルギー資源はあるがエネルギーの需要が少ない	10	8.7%
地域内にエネルギー資源はあるが調達が困難	14	12.2%
導入に向けた専門人材が不足	46	40.0%
その他	7	6.1%
回答者数	115	

(n=115)

特徴的な内容

- ・送電線の空き容量不足

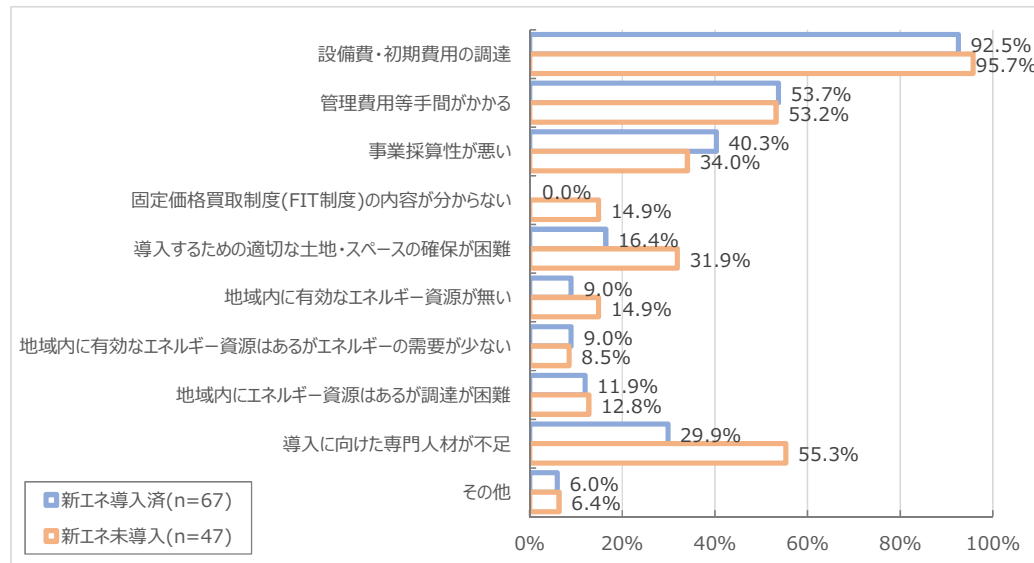


新エネルギー導入の有無と新エネルギー導入の課題のクロス

選択肢	新エネルギー導入済	新エネルギー未導入	新エネルギー導入済	新エネルギー未導入
設備費・初期費用の調達	62	45	92.5%	95.7%
管理費用等手間がかかる	36	25	53.7%	53.2%
事業採算性が悪い	27	16	40.3%	34.0%
固定価格買取制度(FIT制度)の内容が分からない	0	7	0.0%	14.9%
導入するための適切な土地・スペースの確保が困難	11	15	16.4%	31.9%
地域内に有効なエネルギー資源が無い	6	7	9.0%	14.9%
地域内に有効なエネルギー資源はあるがエネルギーの需要が少ない	6	4	9.0%	8.5%
地域内にエネルギー資源はあるが調達が困難	8	6	11.9%	12.8%
導入に向けた専門人材が不足	20	26	29.9%	55.3%
その他	4	3	6.0%	6.4%
回答者数	67	47		

(n=67)

(n=47)

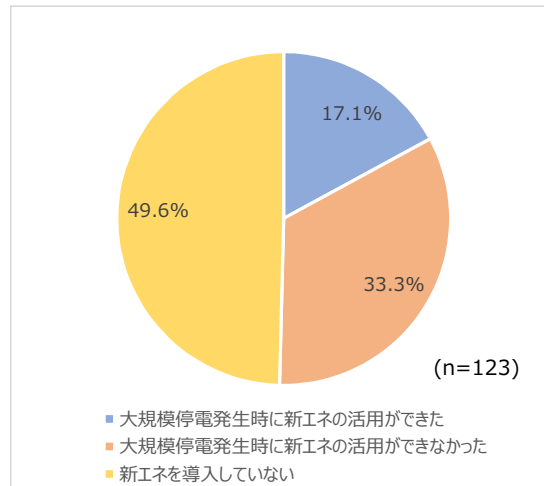


Ⅲ 災害時の新エネ活用状況

1 平成30年9月の大規模停電発生時における新エネルギー活用状況 (SA)

選択肢	回答数	構成比
大規模停電発生時に新エネの活用ができた	21	17.1%
大規模停電発生時に新エネの活用ができなかった	41	33.3%
新エネを導入していない	61	49.6%
合計	123	100.0%

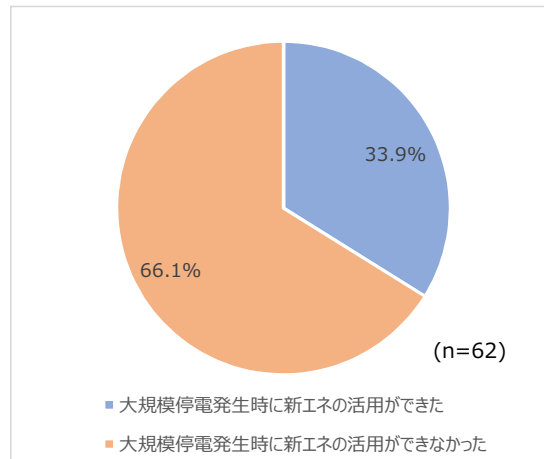
(n=123)



※新エネ導入のみの割合

選択肢	回答数	構成比
大規模停電発生時に新エネの活用ができた	21	33.9%
大規模停電発生時に新エネの活用ができなかった	41	66.1%
合計	62	100.0%

(n=62)

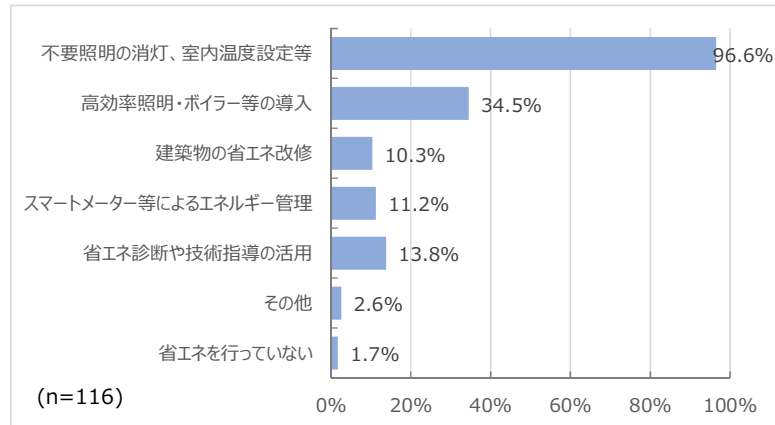


IV 省エネの取組について

1 省エネの取組について (MA)

選択肢	回答数	構成比
不要照明の消灯、室内温度設定等	112	96.6%
高効率照明・ボイラー等の導入	40	34.5%
建築物の省エネ改修	12	10.3%
スマートメーター等によるエネルギー管理	13	11.2%
省エネ診断や技術指導の活用	16	13.8%
その他	3	2.6%
省エネを行っていない	2	1.7%
回答者数	116	

(n=116)

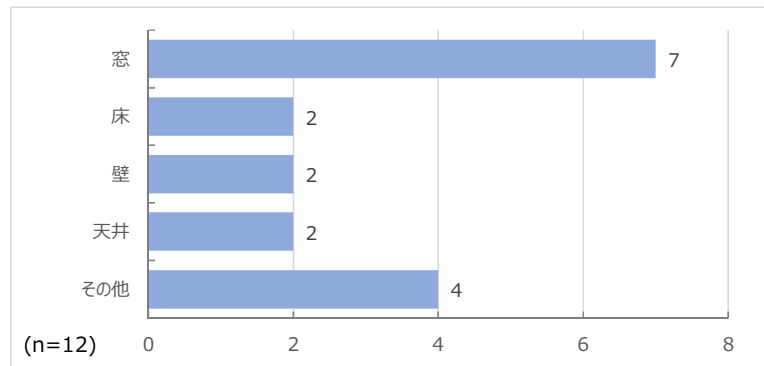


(n=116)

「建築物の省エネ改修」を選んだ方は、改修箇所についてもお答えください (MA)

選択肢	回答数	構成比
窓	7	58.3%
床	2	16.7%
壁	2	16.7%
天井	2	16.7%
その他	4	33.3%
回答者数	12	

(n=12)

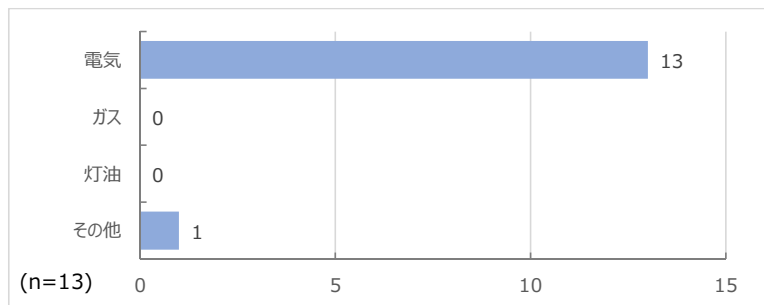


(n=12)

「スマートメーターによるエネルギー管理」を選んだ方は、管理対象エネルギーについてもお答えください (MA)

選択肢	回答数	構成比
電気	13	100.0%
ガス	0	0.0%
灯油	0	0.0%
その他	1	7.7%
回答者数	13	

(n=13)

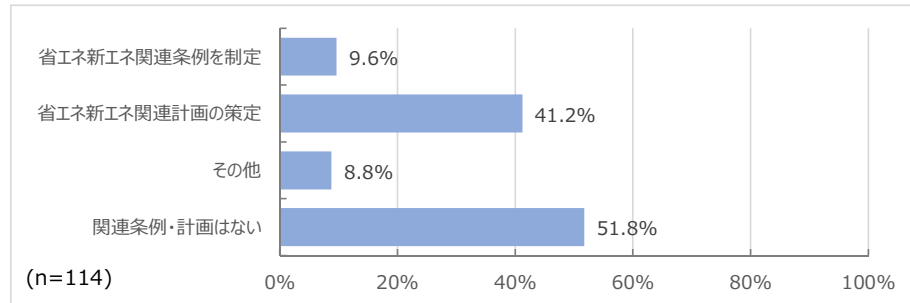


V 省エネ新エネ関連事業

1 市町村における関連の条例・計画について (MA)

選択肢	回答数	構成比
省エネ新エネ関連条例を制定	11	9.6%
省エネ新エネ関連計画の策定	47	41.2%
その他	10	8.8%
関連条例・計画はない	59	51.8%
回答者数	114	

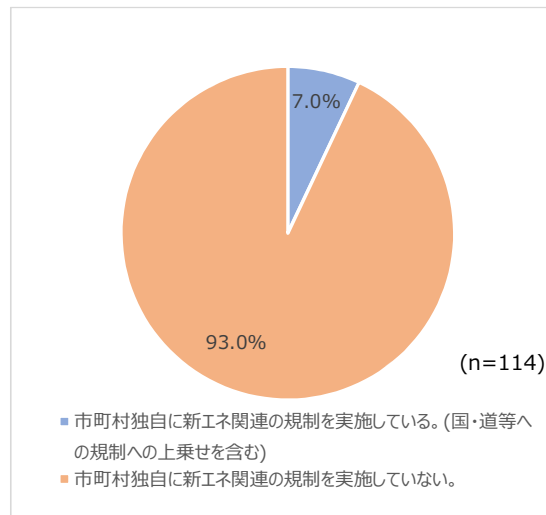
(n=114)



2 新エネに関する規制について (SA)

選択肢	回答数	構成比
市町村独自に新エネ関連の規制を実施している。 (国・道等への規制への上乗せを含む)	8	7.0%
市町村独自に新エネ関連の規制を実施していない。	106	93.0%
合計	114	100.0%

(n=114)



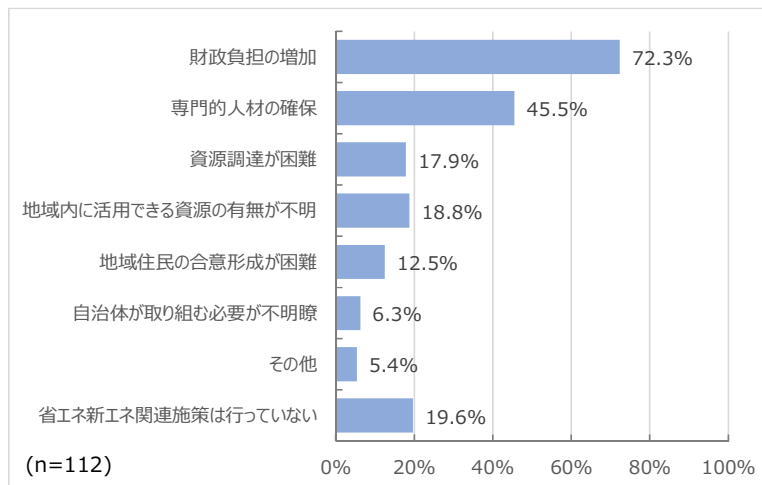
3 省エネ新エネ関連施策推進における課題について (MA)

選択肢	回答数	構成比
財政負担の増加	81	72.3%
専門的人材の確保	51	45.5%
資源調達が困難	20	17.9%
地域内に活用できる資源の有無が不明	21	18.8%
地域住民の合意形成が困難	14	12.5%
自治体が取り組む必要が不明瞭	7	6.3%
その他	6	5.4%
省エネ新エネ関連施策は行っていない	22	19.6%
回答者数	112	

(n=112)

特徴的な内容

- ・法制度がマッチしていない



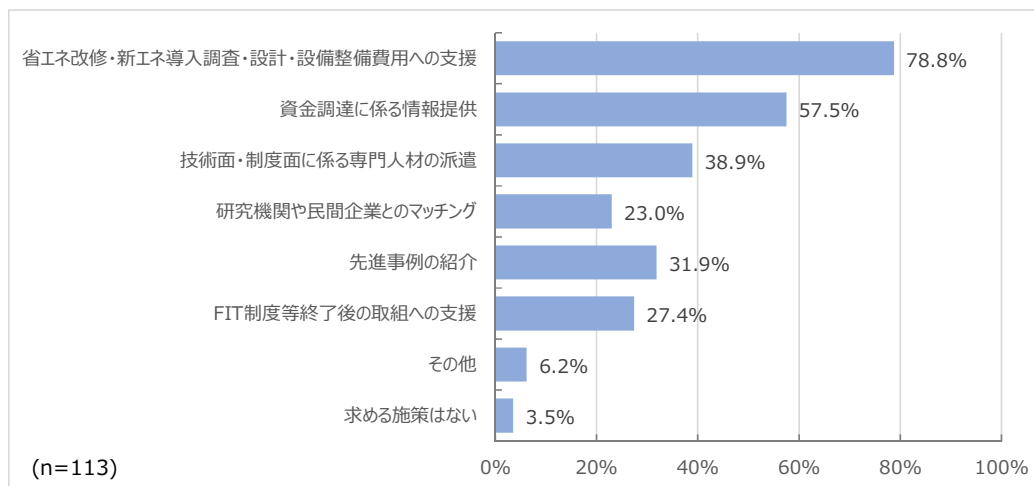
4 国・道に求める施策 (MA)

選択肢	回答数	構成比
省エネ改修・新エネ導入調査・設計・設備整備費用への支援	89	78.8%
資金調達に係る情報提供	65	57.5%
技術面・制度面に係る専門人材の派遣	44	38.9%
研究機関や民間企業とのマッチング	26	23.0%
先進事例の紹介	36	31.9%
FIT制度等終了後の取組への支援	31	27.4%
その他	7	6.2%
求める施策はない	4	3.5%
回答者数	113	

(n=113)

特徴的な内容

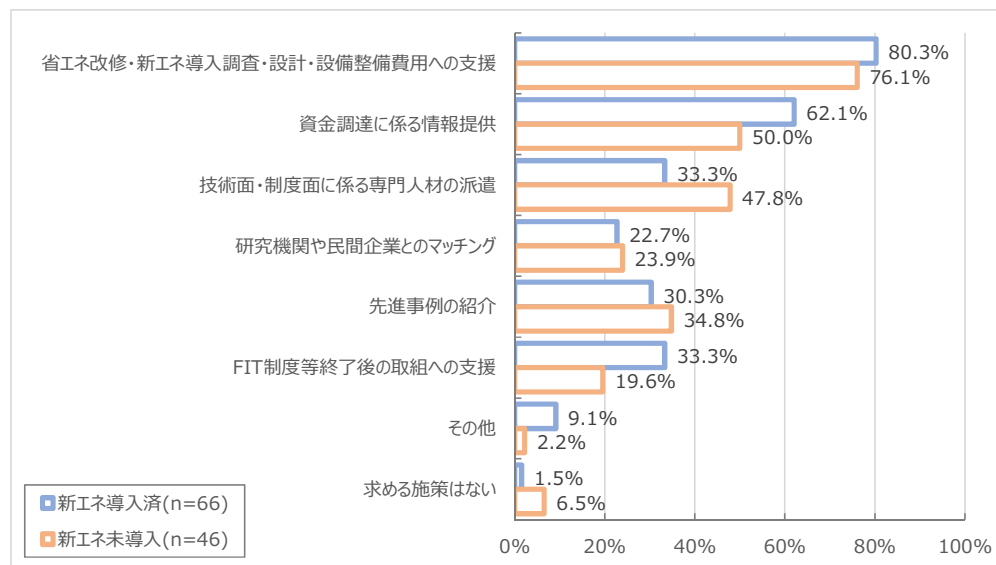
- ・送電線の整備
- ・水素サプライチェーン等横断的取り組みに対する実務面での主導



新エネ導入の有無と国・道に求める施策のクロス

選択肢	新エネ導入済	新エネ未導入	新エネ導入済	新エネ未導入
省エネ改修・新エネ導入調査・設計・設備整備費用への支援	53	35	80.3%	76.1%
資金調達に係る情報提供	41	23	62.1%	50.0%
技術面・制度面に係る専門人材の派遣	22	22	33.3%	47.8%
研究機関や民間企業とのマッチング	15	11	22.7%	23.9%
先進事例の紹介	20	16	30.3%	34.8%
FIT制度等終了後の取組への支援	22	9	33.3%	19.6%
その他	6	1	9.1%	2.2%
求める施策はない	1	3	1.5%	6.5%
回答者数	66	46		

(n=66) (n=46)



新エネルギー等概況調査 調査結果

市町村（別紙）

（設問Ⅱ-2～Ⅱ-4部分及び関連するクロス集計部分）

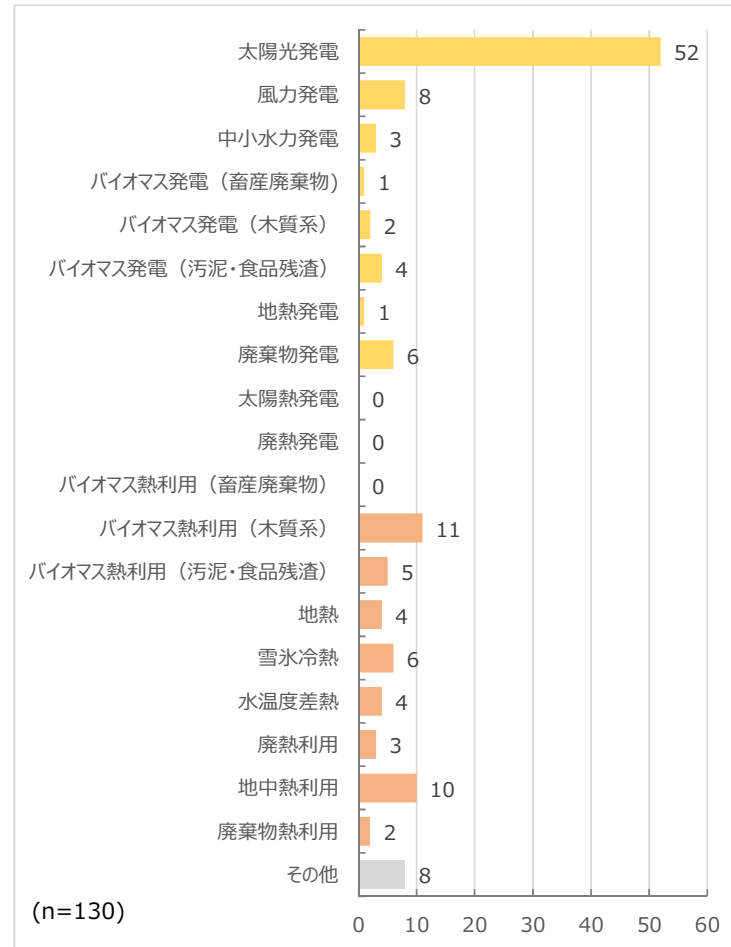
I 市町村における新エネの状況

2 貴市町村直営（公設民営を含む）の新エネ施設うち稼働中のものについて

【稼働中】新エネの種類(MA)

選択肢	回答数	構成比
太陽光発電	52	40.0%
風力発電	8	6.2%
中小水力発電	3	2.3%
バイオマス発電（畜産廃棄物）	1	0.8%
バイオマス発電（木質系）	2	1.5%
バイオマス発電（汚泥・食品残渣）	4	3.1%
地熱発電	1	0.8%
廃棄物発電	6	4.6%
太陽熱発電	0	0.0%
廃熱発電	0	0.0%
バイオマス熱利用（畜産廃棄物）	0	0.0%
バイオマス熱利用（木質系）	11	8.5%
バイオマス熱利用（汚泥・食品残渣）	5	3.8%
地熱	4	3.1%
雪氷冷熱	6	4.6%
水温度差熱	4	3.1%
廃熱利用	3	2.3%
地中熱利用	10	7.7%
廃棄物熱利用	2	1.5%
その他	8	6.2%
合計	130	

(n=130)



【稼働中】導入目的 (MA)

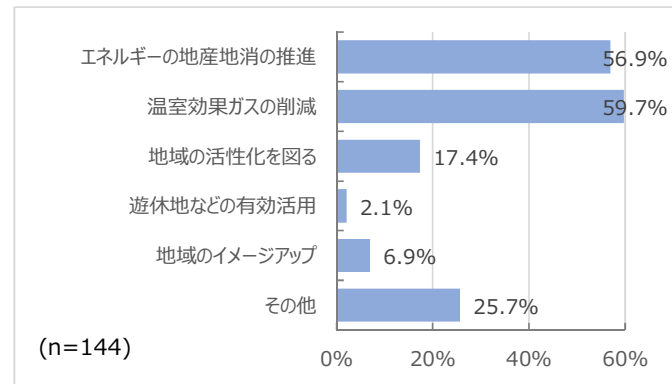
※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
エネルギーの地産地消の推進	82	56.9%
温室効果ガスの削減	86	59.7%
地域の活性化を図る	25	17.4%
遊休地などの有効活用	3	2.1%
地域のイメージアップ	10	6.9%
その他	37	25.7%
回答者数	144	

(n=144)

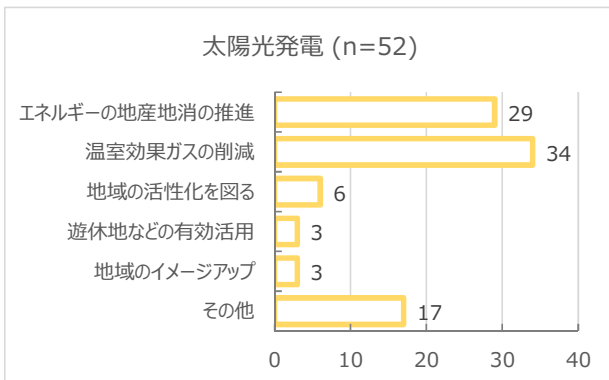
特徴的な内容

- ・売電
- ・建築廃材の有効活用 (木質バイオマス)

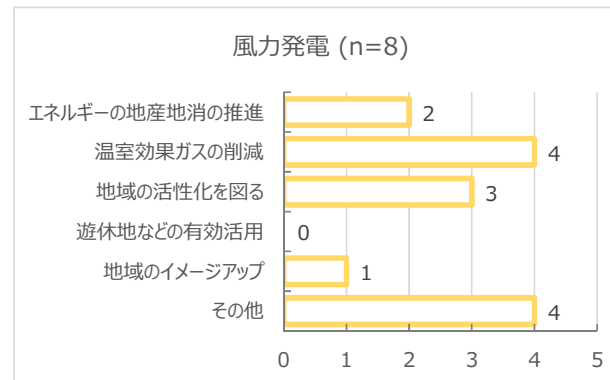


導入目的と稼働中新エネ種類のクロス集計

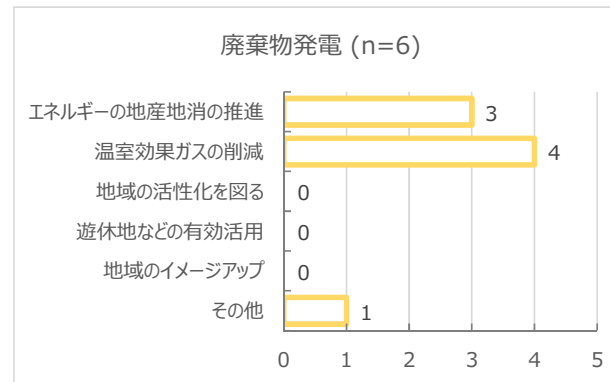
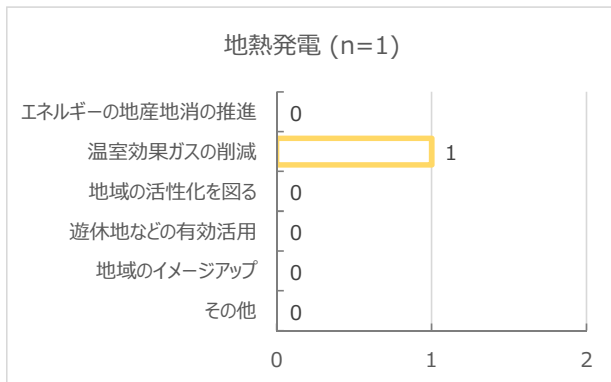
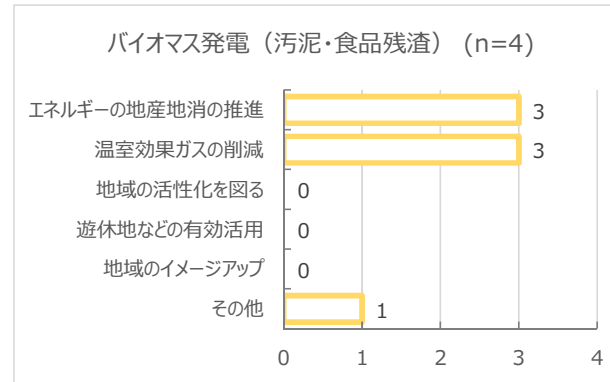
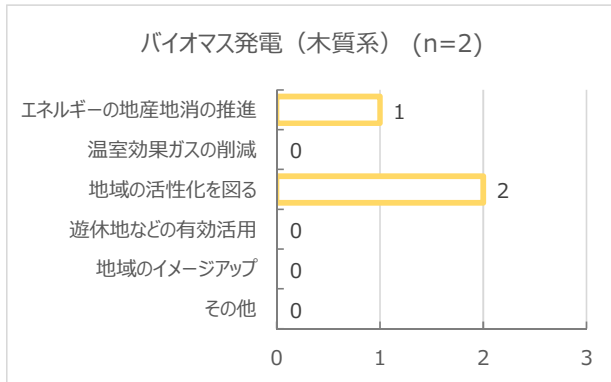
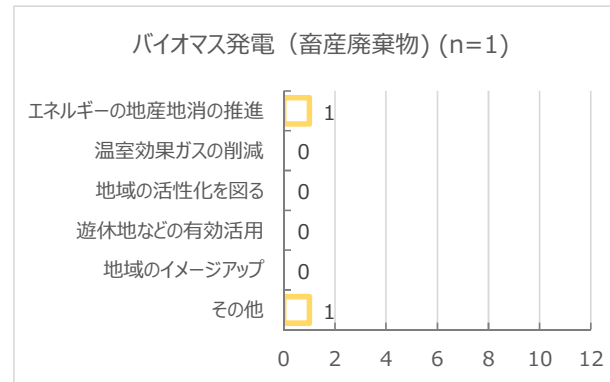
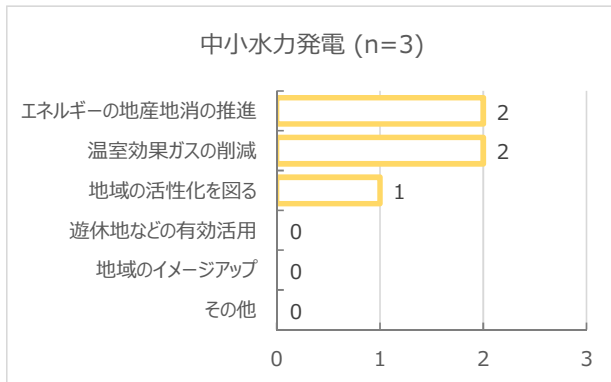
	エネルギーの 地産地消の 推進	温室効果ガス の削減	地域の活性 化を図る	遊休地などの 有効活用	地域のイメ ージアップ	その他	エネルギーの 地産地消の 推進	温室効果ガス の削減	地域の活性 化を図る	遊休地などの 有効活用	地域のイメ ージアップ	その他
太陽光発電	29	34	6	3	3	17	55.8%	65.4%	11.5%	5.8%	5.8%	32.7%
風力発電	2	4	3	0	1	4	25.0%	50.0%	37.5%	0.0%	12.5%	50.0%
中小水力発電	2	2	1	0	0	0	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
バイオマス発電（畜産廃棄物）	1	0	0	0	0	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
バイオマス発電（木質系）	1	0	2	0	0	0	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
バイオマス発電（汚泥・食品残渣）	3	3	0	0	0	1	75.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
地熱発電	0	1	0	0	0	0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
廃棄物発電	3	4	0	0	0	1	50.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
太陽熱発電	0	0	0	0	0	0						
廃熱発電	0	0	0	0	0	0						
バイオマス熱利用（畜産廃棄物）	0	0	0	0	0	0						
バイオマス熱利用（木質系）	11	8	6	0	3	1	100.0%	72.7%	54.5%	0.0%	27.3%	9.1%
バイオマス熱利用（汚泥・食品残渣）	2	4	0	0	0	1	40.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
地熱	3	0	0	0	1	1	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%
雪冰冷熱	5	5	3	0	2	0	83.3%	83.3%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%
水温度差熱	2	2	0	0	0	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
廃熱利用	2	2	0	0	0	1	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
地中熱利用	6	8	2	0	0	1	60.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%
廃棄物熱利用	1	1	0	0	0	1	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
その他	5	6	2	0	0	3	62.5%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	37.5%
合計	78	84	25	3	10	35	60.0%	64.6%	19.2%	2.3%	7.7%	26.9%



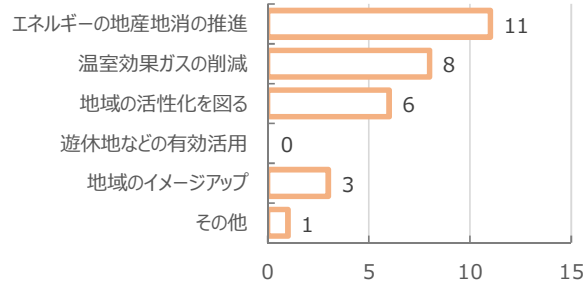
・主なその他内容：環境教育のため、非常時用のため



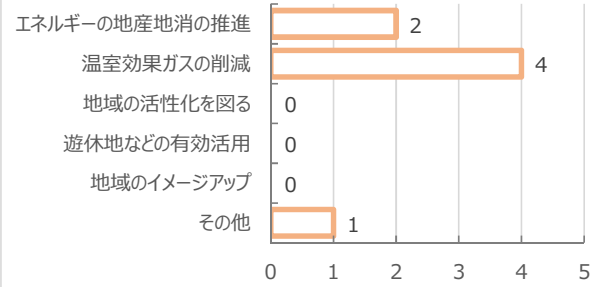
・主なその他内容：非常時用のため



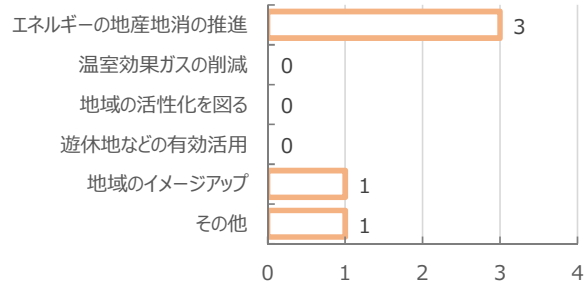
バイオマス熱利用（木質系）（n=11）



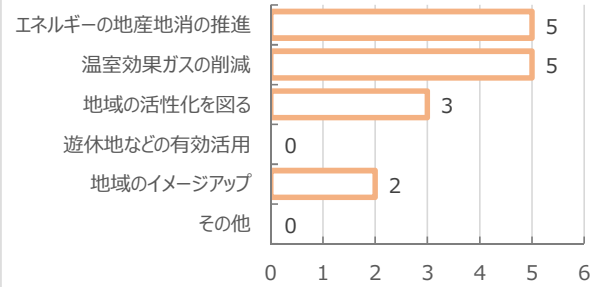
バイオマス熱利用（汚泥・食品残渣）（n=5）



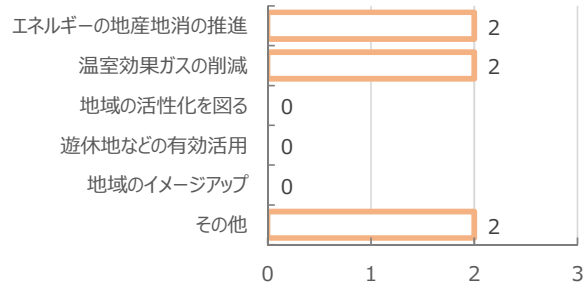
地熱（n=4）



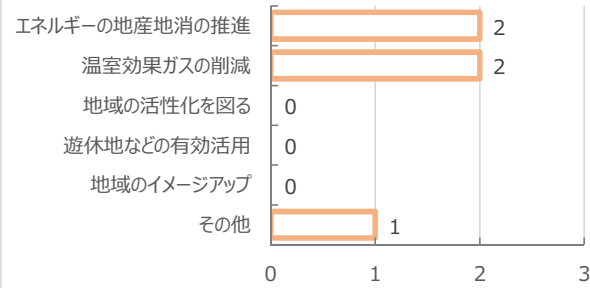
雪氷冷熱（n=6）



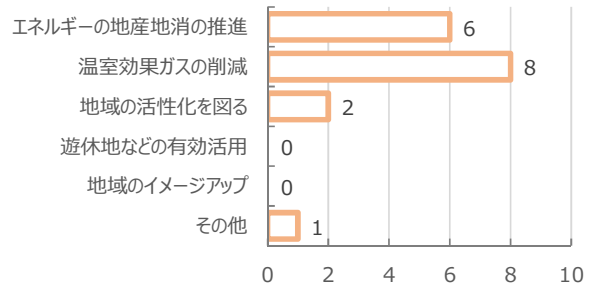
水温度差熱（n=4）



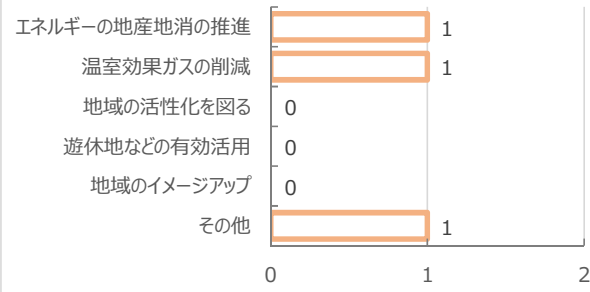
廃熱利用（n=3）



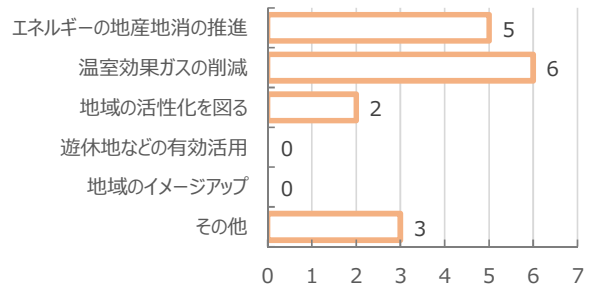
地中熱利用 (n=10)



廃棄物熱利用 (n=2)



その他 (n=8)

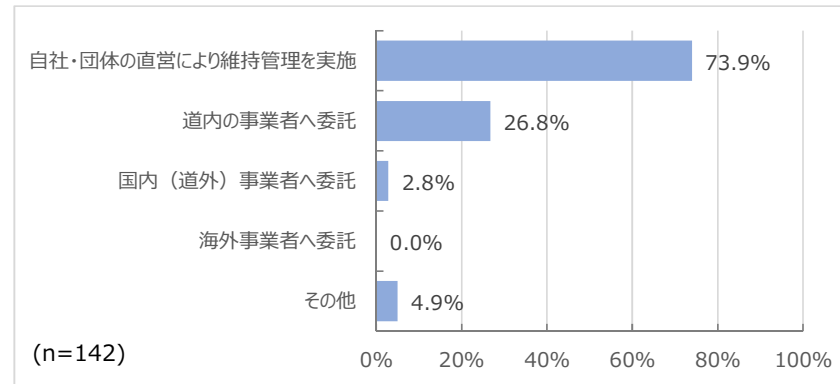


【稼働中】維持管理者（MA）

※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
自社・団体の直営により維持管理を実施	105	73.9%
道内の事業者へ委託	38	26.8%
国内（道外）事業者へ委託	4	2.8%
海外事業者へ委託	0	0.0%
その他	7	4.9%
回答者数	142	

(n=142)



【稼働中】運用上の課題（MA）

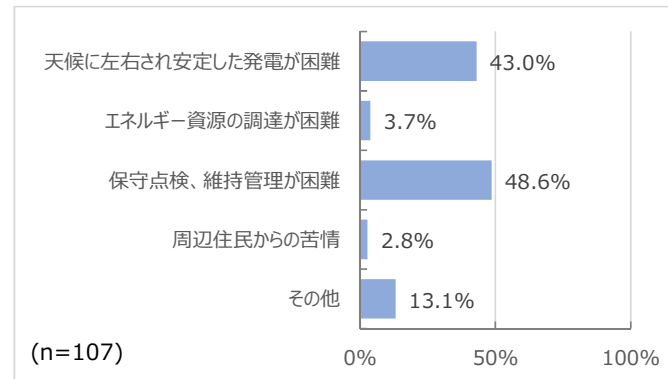
※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
天候に左右され安定した発電が困難	46	43.0%
エネルギー資源の調達が困難	4	3.7%
保守点検、維持管理が困難	52	48.6%
周辺住民からの苦情	3	2.8%
その他	14	13.1%
回答者数	107	

(n=107)

特徴的な内容

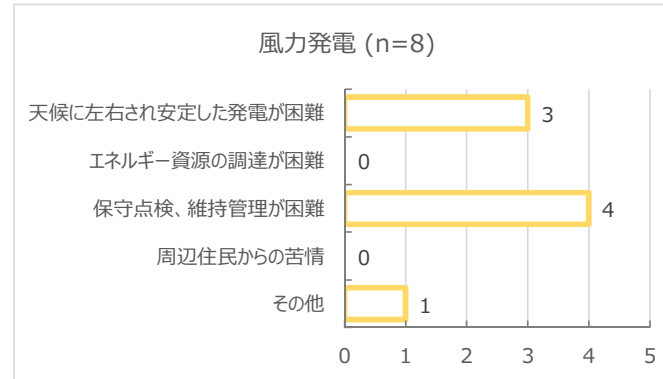
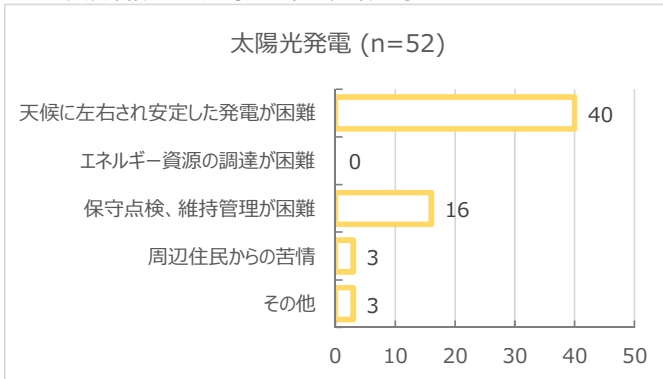
- ・新エネ導入により町内業者からの燃料仕入れが減少

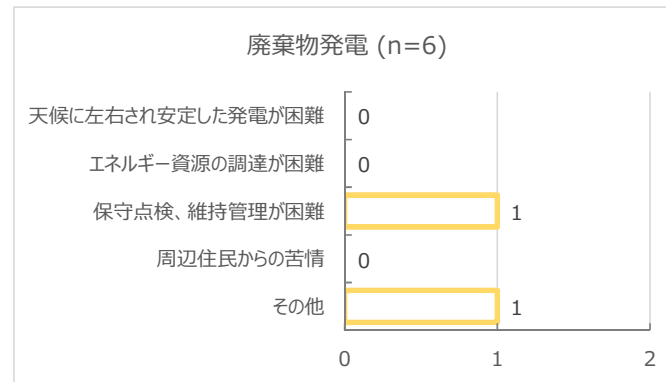
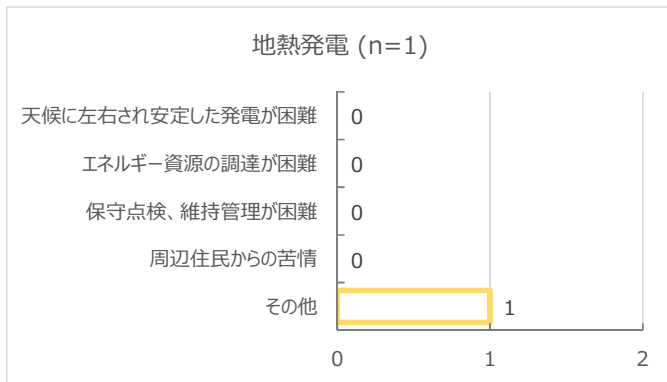
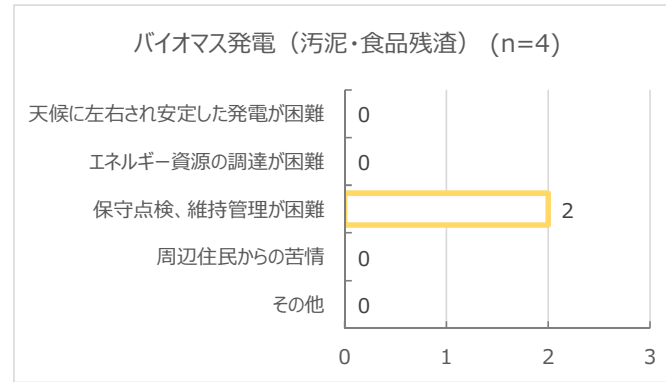
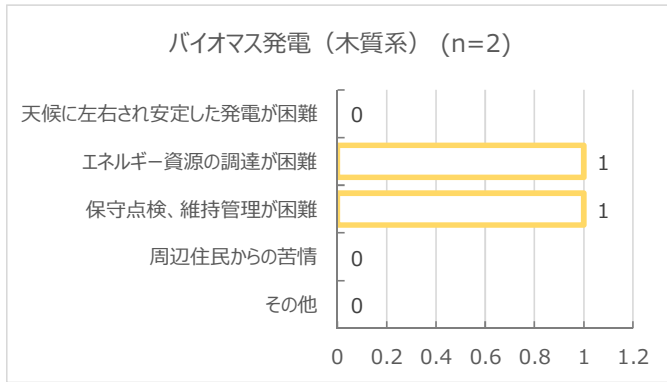
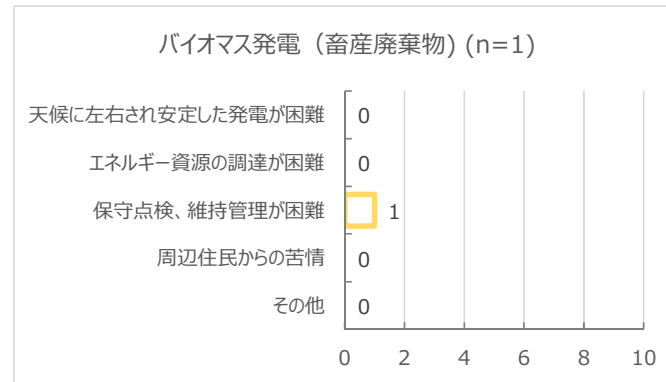
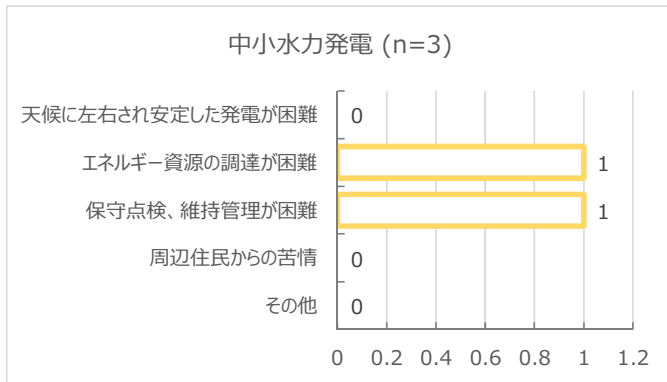


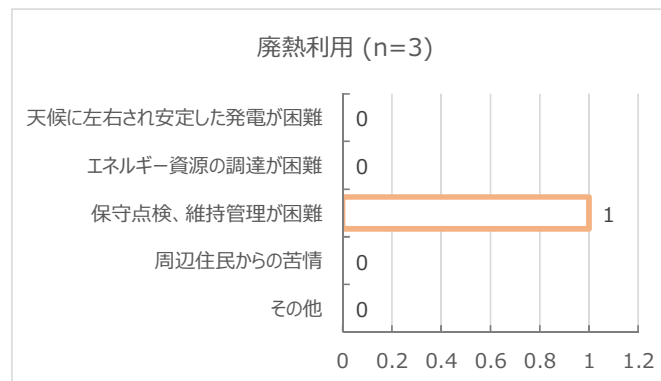
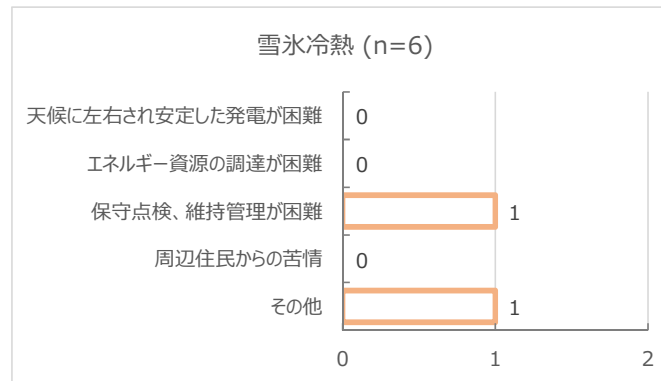
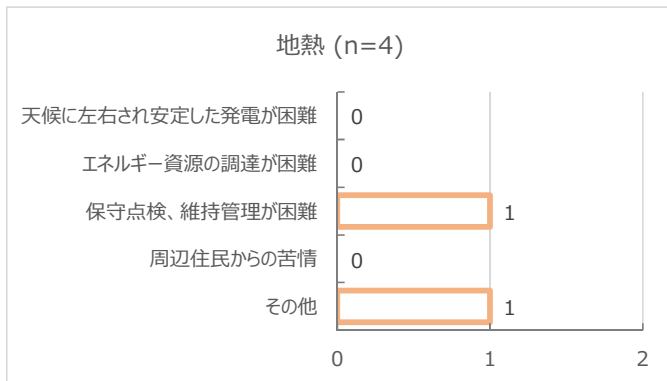
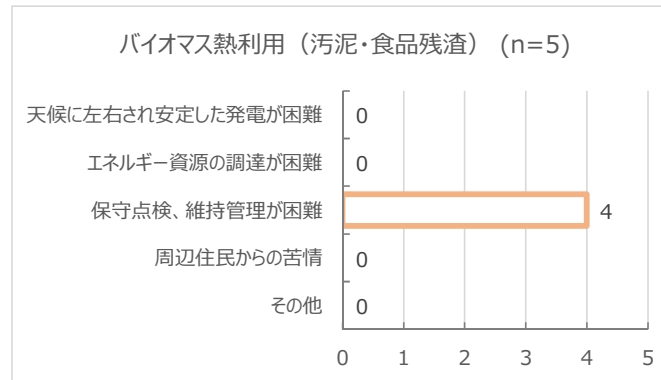
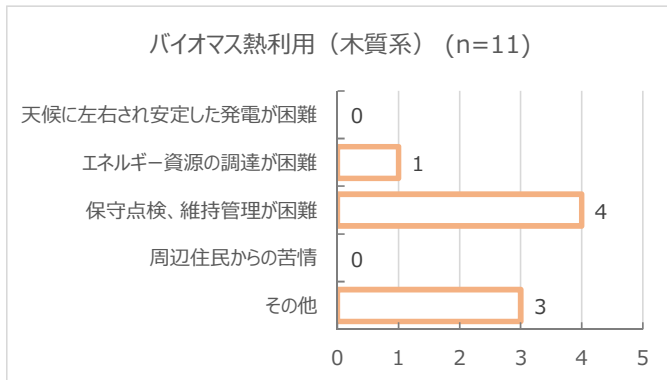
運用上の課題と稼働中新エネ種類のクロス集計

	天候に左右され安定した発電が困難	エネルギー資源の調達が困難	保守点検、維持管理が困難	周辺住民からの苦情	その他	天候に左右され安定した発電が困難	エネルギー資源の調達が困難	保守点検、維持管理が困難	周辺住民からの苦情	その他
太陽光発電	40	0	16	3	3	76.9%	0.0%	30.8%	5.8%	5.8%
風力発電	3	0	4	0	1	37.5%	0.0%	50.0%	0.0%	12.5%
中小水力発電	0	1	1	0	0	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
バイオマス発電（畜産廃棄物）	0	0	1	0	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
バイオマス発電（木質系）	0	1	1	0	0	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
バイオマス発電（汚泥・食品残渣）	0	0	2	0	0	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
地熱発電	0	0	0	0	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
廃棄物発電	0	0	1	0	1	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%
太陽熱発電	0	0	0	0	0					
廃熱発電	0	0	0	0	0					
バイオマス熱利用（畜産廃棄物）	0	0	0	0	0					
バイオマス熱利用（木質系）	0	1	4	0	3	0.0%	9.1%	36.4%	0.0%	27.3%
バイオマス熱利用（汚泥・食品残渣）	0	0	4	0	0	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%
地熱	0	0	1	0	1	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%
雪氷冷熱	0	0	1	0	1	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%
水温度差熱	0	0	1	0	0	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
廃熱利用	0	0	1	0	0	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
地中熱利用	1	1	5	0	0	10.0%	10.0%	50.0%	0.0%	0.0%
廃棄物熱利用	0	0	0	0	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
その他	2	0	5	0	2	25.0%	0.0%	62.5%	0.0%	25.0%
合計	46	4	48	3	14	35.4%	3.1%	36.9%	2.3%	10.8%

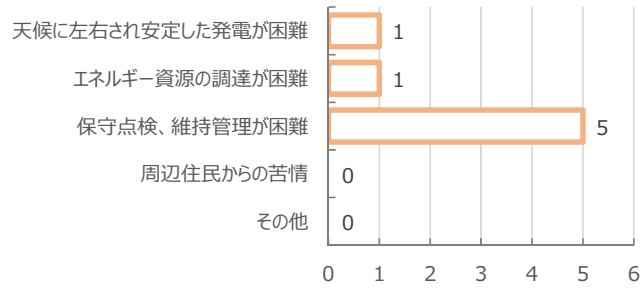
※nは回答者数ではなく導入エネルギー数を示しています



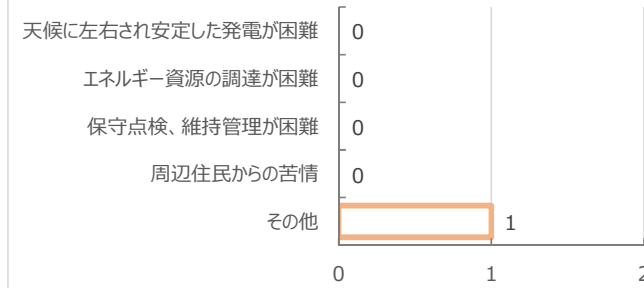




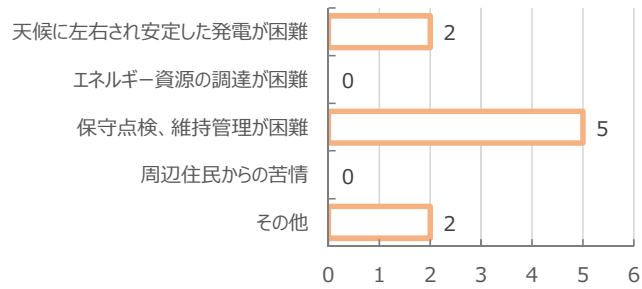
地中熱利用 (n=10)



廃棄物熱利用 (n=2)



その他 (n=8)



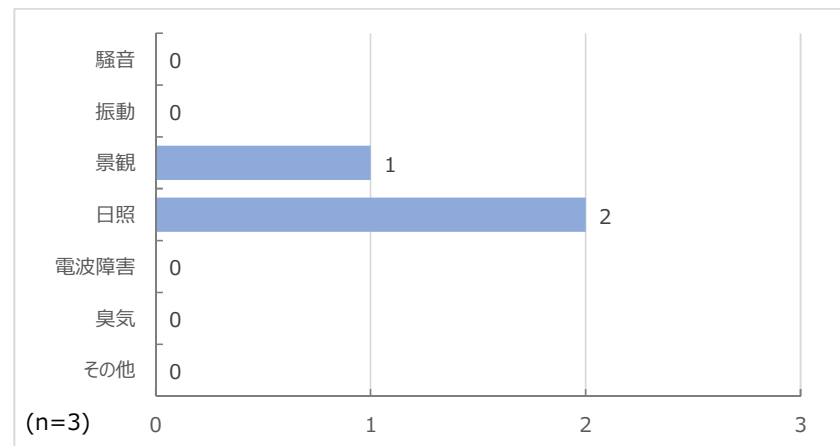
【稼働中】住民からの苦情の内訳 (MA)

※「周辺住民からの苦情」があった場合、その詳細についてお答えください

※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
騒音	0	0.0%
振動	0	0.0%
景観	1	33.3%
日照	2	66.7%
電波障害	0	0.0%
臭気	0	0.0%
その他	0	0.0%
回答者数	3	

(n=3)

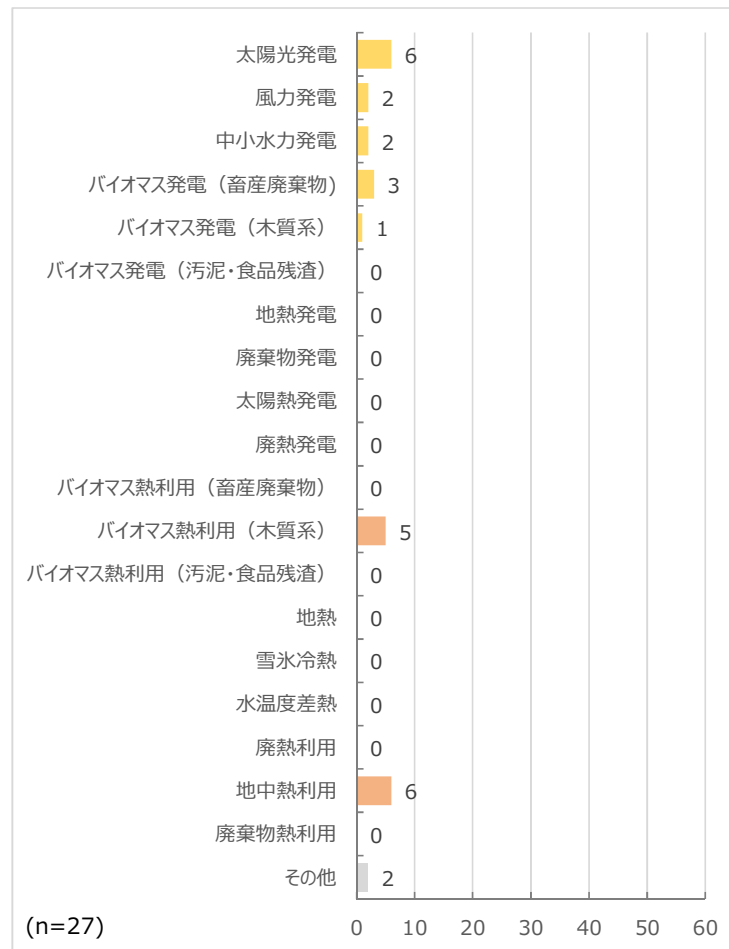


3 貴市町村直営（公設民営を含む）の新エネ施設のうち整備中・計画中のものについて

【整備中・計画中】新エネの種類（SA）

選択肢	回答数	構成比
太陽光発電	6	22.2%
風力発電	2	7.4%
中小水力発電	2	7.4%
バイオマス発電（畜産廃棄物）	3	11.1%
バイオマス発電（木質系）	1	3.7%
バイオマス発電（汚泥・食品残渣）	0	0.0%
地熱発電	0	0.0%
廃棄物発電	0	0.0%
太陽熱発電	0	0.0%
廃熱発電	0	0.0%
バイオマス熱利用（畜産廃棄物）	0	0.0%
バイオマス熱利用（木質系）	5	18.5%
バイオマス熱利用（汚泥・食品残渣）	0	0.0%
地熱	0	0.0%
雪氷冷熱	0	0.0%
水温度差熱	0	0.0%
廃熱利用	0	0.0%
地中熱利用	6	22.2%
廃棄物熱利用	0	0.0%
その他	2	7.4%
合計	27	100.0%

(n=27)

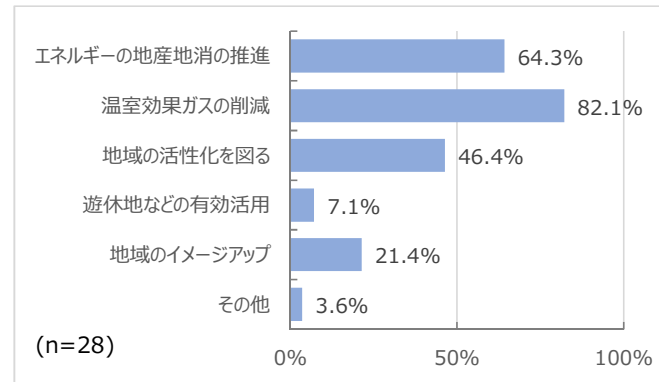


【整備中・計画中】導入目的 (MA)

※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
エネルギーの地産地消の推進	18	64.3%
温室効果ガスの削減	23	82.1%
地域の活性化を図る	13	46.4%
遊休地などの有効活用	2	7.1%
地域のイメージアップ	6	21.4%
その他	1	3.6%
回答者数	28	

(n=28)

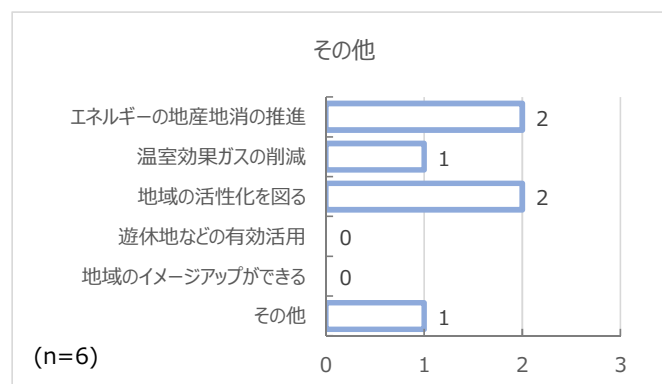
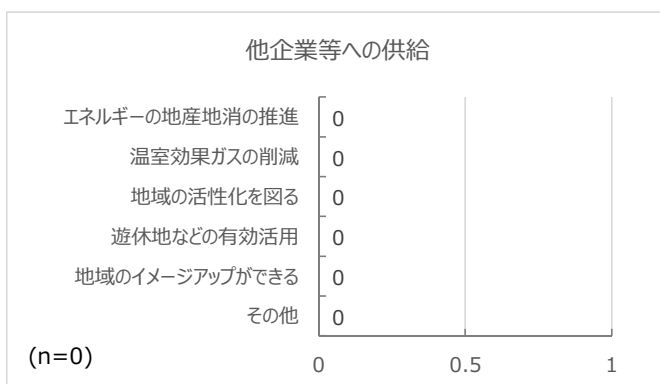
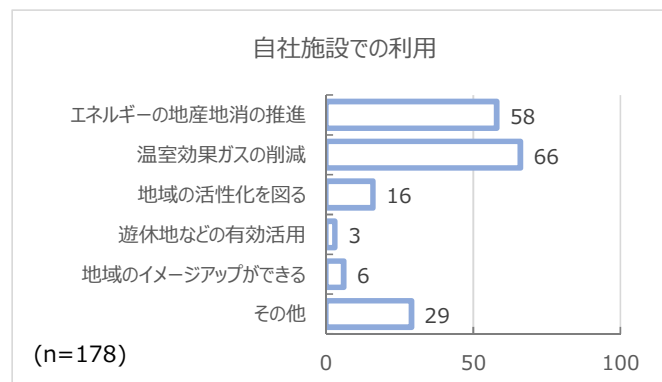
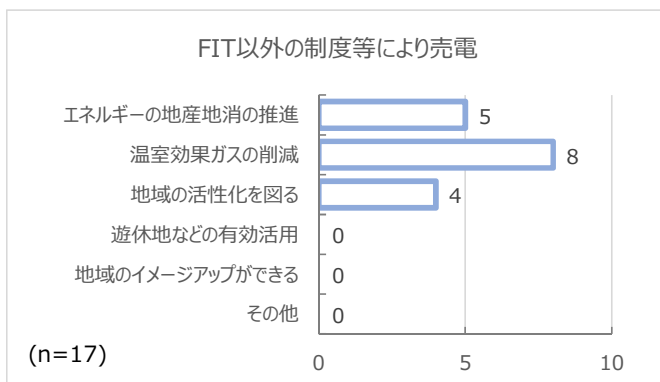
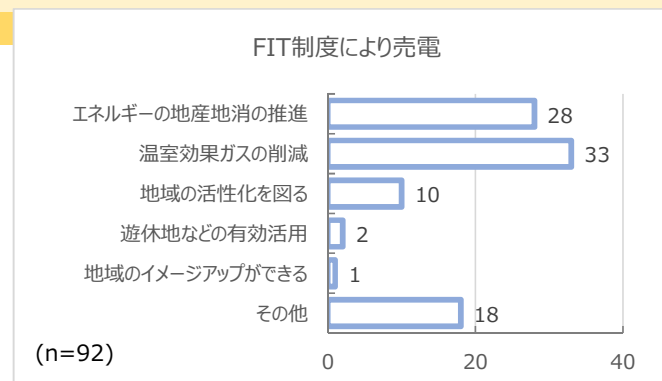


4 新エネにより発電した電気の利用方法

発電した新エネ電気の利用方法と新エネ導入目的のクロス集計

	FIT制度により売電	FIT以外の制度等により売電	自社施設での利用	他企業等への供給	その他
エネルギーの地産地消の推進	28	5	58	0	2
温室効果ガスの削減	33	8	66	0	1
地域の活性化を図る	10	4	16	0	2
遊休地などの有効活用	2	0	3	0	0
地域のイメージアップができる	1	0	6	0	0
その他	18	0	29	0	1
合計	92	17	178	0	6

(n=92) (n=17) (n=178) (n=0) (n=6)

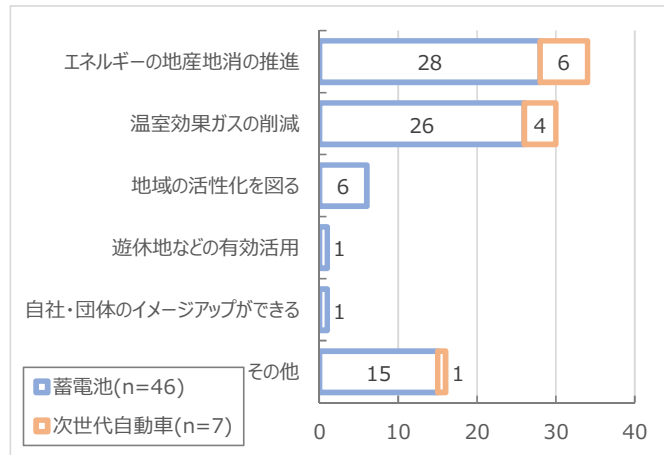


7 新エネ用の蓄電池等整備状況

蓄電池等整備状況と新エネ導入目的のクロス集計

	新エネ発電施設に専用の蓄電池を備えている	次世代自動車(EV・PHV等)の蓄電池を活用	新エネ発電施設に専用の蓄電池を備えている	次世代自動車(EV・PHV等)の蓄電池を活用
エネルギーの地産地消の推進	28	6	60.9%	85.7%
温室効果ガスの削減	26	4	56.5%	57.1%
地域の活性化を図る	6	0	13.0%	0.0%
遊休地などの有効活用	1	0	2.2%	0.0%
自社・団体のイメージアップができる	1	0	2.2%	0.0%
その他	15	1	32.6%	14.3%
合計	46	7		

(n=46) (n=7)



蓄電池等整備状況と稼働中新エネ種類のクロス集計

	新エネ発電施設に専用の蓄電池を備えている	次世代自動車(EV・PHV等)の蓄電池を活用	新エネ発電施設に専用の蓄電池を備えている	次世代自動車(EV・PHV等)の蓄電池を活用
太陽光発電	20	2	46.5%	28.6%
風力発電	4	0	9.3%	0.0%
中小水力発電	1	1	2.3%	14.3%
バイオマス発電（畜産廃棄物）	0	1	0.0%	14.3%
バイオマス発電（木質系）	0	0	0.0%	0.0%
バイオマス発電（汚泥・食品残渣）	1	0	2.3%	0.0%
地熱発電	0	0	0.0%	0.0%
廃棄物発電	3	1	7.0%	14.3%
太陽熱発電	0	0	0.0%	0.0%
廃熱発電	0	0	0.0%	0.0%
バイオマス熱利用（畜産廃棄物）	0	0	0.0%	0.0%
バイオマス熱利用（木質系）	3	1	7.0%	14.3%
バイオマス熱利用（汚泥・食品残渣）	1	0	2.3%	0.0%
地熱	1	0	2.3%	0.0%
雪氷冷熱	2	1	4.7%	14.3%
水温度差熱	0	0	0.0%	0.0%
廃熱利用	0	0	0.0%	0.0%
地中熱利用	2	0	4.7%	0.0%
廃棄物熱利用	1	0	2.3%	0.0%
その他	4	0	9.3%	0.0%
合計	43	7	100.0%	100.0%

(n=43) (n=7)

